

未来に継ぐ杉並 杉並区基本構想

基本構想とは？

基本構想は、杉並区の将来の姿と、進むべき方向性を描くものであり、区の近未来に向けた道筋を指し示す「羅針盤」とも言えるものです。
区と区民はもちろん、地域団体や民間事業者等を含めた、杉並区に関わるすべての皆さんとともに将来を展望し、共有する構想として策定しました。

みどり豊かな
住まいのみやこ

基本構想に掲げる区が目指すまちの姿「みどり豊かな 住まいのみやこ」（新キャッチフレーズ）のロゴマークができました。

基本構想を貫く3つの基本的理念

認め合い 支え合う

様々な価値観を互いに認め合い、支え-支えられる地域社会をつくっていくことにより、地域で暮らす人たちが、誰一人として差別されず、取り残されない社会にしていきます。「人生100年時代」を見据え、すべての区民が自らの人生を豊かに生きていくことができる社会を築いていきます。

安全・安心のまち つながりで築く

首都直下地震や、気候変動に伴う大規模な自然災害に対応し、誰もが安全・安心に暮らし続けることができる環境を築くために、まちのつながり、人のつながりを大切にします。区民、団体、企業、行政を含むこのまちに関わるすべてが主体となり、力を合わせて、まちの将来を築いていきます。

次世代を育み 引き継ぐ

杉並の次代を担う子どもを地域社会全体で育てていきます。暮らしの基盤である、豊かな自然環境を次世代に引き継いでいくため、地球規模の視野に立って一人ひとりが行動します。わがまちの歴史を知り、まちに根付く文化や遺産、自治の歴史を継承し、このまちに誇りを感じながら暮らす人々を増やします。

基本構想（全文・冊子・動画）はこちら



防災・防犯

みんなでつくる、災害に強く、犯罪を生まないまち

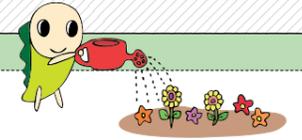
様々な災害から区民の生命や大切な財産を守り、犯罪を生まない安全なまちを築いていく必要があります。区民一人ひとりが高い防災・防犯意識を持ち、みんなで支え合い、誰もが安心して住み続けられるまちを目指します。

取組の方向性

- 1 今まで経験したことの無い災害を想定し、復興に備えた防災・減災の取組を進める
- 2 みんなで支え合い、いのちを守り、暮らしを続けられるまちをつくる
- 3 犯罪が起りにくい、犯罪を生まないまちをつくる



環境・みどり



気候危機に立ち向かい、みどりあふれる良好な環境を将来につなぐまち

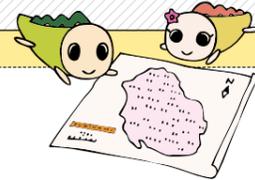
近年、「気候変動」に起因するとされる深刻な自然災害が多発しており、今や「気候危機」に直面しているといわれています。気候変動対策を含む環境施策の一層の推進を図ることは喫緊の課題となっています。世界的な課題である気候危機への対応のみならず、様々な環境問題に地域全体で取り組むことで、持続可能で質の高い、みどりあふれる良好な環境を将来世代に引き継いでいくことができるまちを目指します。

取組の方向性

- 1 気候危機に立ち向かうため、気候変動対策を推進する
- 2 資源を大切にすまちをつくる
- 3 みどりや水辺を育み、自然と人の営みが共存できるまちづくりを進める
- 4 区民一人ひとりが環境への負荷を低減させる取組や自然との共生に向けた行動を継続的に実践する



まちづくり・地域産業



多様な魅力と交流が生まれ、にぎわいのある快適なまち

住宅都市としての価値をさらに高めていくためには、暮らしやすく快適で魅力あるまちを創造することが重要です。そのため、駅を中心とした周辺地域にまちの多様な魅力と交流・活力を創出するとともに、地域に根ざした産業を支援し、区民はもとより、来街者を含めて、誰にとっても居心地がよく、にぎわいがあふれ、出かけたくなるまちを目指します。

取組の方向性

- 1 多様な機能と魅力がある多心型まちづくりを進める
- 2 誰もが気軽に移動できる利便性の高いまちをつくる
- 3 多様なライフスタイルに対応できる持続可能で柔軟なまちづくりを進める
- 4 暮らしや環境と調和した地域産業を育み、にぎわいと活力のあるまちをつくる



健康・医療

「人生100年時代」を自分らしく健やかに生きることができるまち

「人生100年時代」を見据え、区民一人ひとりの主体的な取組や、個々の状況に合わせた医療情報の提供等に基づき、効果的な健康づくりを展開する必要があります。健康長寿社会に向かう中、住み慣れた地域で、誰もが自分らしく、いきいきと安心して健康に暮らし続けられるまちを目指します。

取組の方向性

- 1 主体的に健康づくりに取り組み、自分らしくいきいきと住み続けるまちをつくる
- 2 住み慣れた地域で一人ひとりに合った医療が提供されるまちをつくる
- 3 非常時にも迅速に対応できる地域医療体制をつくる



福祉・地域共生



すべての人が認め合い、支え・支えられながら共生するまち

誰もが分け隔てなく、その持てる能力を発揮しながら地域社会とのつながりを保ち、安心して生活できる環境を整える必要があります。世代の差や障害の有無などに関わらず、支援する側と支援される側の関係を超え、すべての人がお互いに認め合いながら共生できる社会づくりを進めます。

取組の方向性

- 1 互いを理解し、認め合い、支え・支えられながら暮らすことができる社会をつくる
- 2 地域に多様な福祉基盤が整い、自分らしく歳を重ねることができるまちをつくる
- 3 多種多様なつながり方をつくり、孤立させないまちをつくる



学び

共に認め合い、みんなで作る学びのまち

将来を予測することが困難な時代において、自分らしい道を切り拓き「人生100年時代」を豊かに生きるとともに、他者と協働しながら新たな価値を生み出し、より良い地域をつくるためには、誰もが学び続けられる社会が必要です。区民一人ひとりが共に認め合い、希望を実現することの楽しさを実感しながら、学び合い、教え合うことのできるまちを目指します。

取組の方向性

- 1 「人生100年時代」を自分らしくいきいきと生きるための学びを支援する
- 2 学びを通して誰一人取り残されない社会を実現するための条件と環境を整える



子ども

すべての子どもが、自分らしく生きていくことができるまち

次代を担う子どもたちが未来への歩みを進めるためには、多様性が尊重され、持てる力を発揮できる社会にしておく必要があります。子どもたちが、家庭や地域でその権利を守られ、様々な経験を通して未来をつくる力を育むまち、子どもと家庭を地域社会全体で支えるまちを目指します。

取組の方向性

- 1 子どもの権利を大切に、子どもが主人公となるような取組を進める
- 2 子どもの個性に応じた育ちを社会全体で支援する
- 3 安心して子どもを産み、育てられる環境をつくる



文化・スポーツ

文化を育み継承し、スポーツに親しむことのできるまち

生涯を通じて文化・スポーツに親しむことで、日々の生活の活力と豊かさを実感することができる社会づくりが必要です。そのため、子どもから高齢者まで障害の有無等に関わらず、誰もが気軽に文化・スポーツに触れることができ、それらの活動が多世代交流や健康づくり・仲間づくりにもつながるまちを目指します。

取組の方向性

- 1 多様な文化・芸術の振興と多文化交流を推進する
- 2 歴史的な文化資産を次世代に継承する
- 3 誰もがスポーツに親しむことのできる環境づくりを進める

